

平成26年度 先進企業視察を実施

平成26年10月29日(水)に実施した先進企業視察の概要を紹介いたします。

1. 参加者 42名（うち当センター随行者：5名）

2. 訪問先

- (1)JX日鉱日石エネルギー株式会社下松石炭中継基地（下松市東海岸通り1番地）
- (2)株式会社日立製作所交通システム社笠戸事業所（下松市大字東豊井794）
- (3)株式会社山下工業所（下松市東海岸通り1番27）

3. 視察概要

(1)JX日鉱日石エネルギー株式会社（11：40～12：20）

- ・下松港は、日本では小名浜港と並ぶ石炭のバルク港であり、石炭基地のサイロの貯炭量は30万トンである。サイロの中で、5万トンずつ6カ所に分けて貯炭しており、サイロの形も六角形の星形となっている。
- ・最大級の外航船の石炭積載量は10万トンであり、国内では3隻サイロにある。10万トンの石炭をサイロに運搬するには70時間を要する。
- ・2班に分かれて、基地内を見学した。サイロ内では、サイロの巨大さを実感することができた。また、リモートコントロール室からは、ブルドーザーやパワーショベルの遠隔操作を見学した。



サイロ内の石炭の山

(2)株式会社日立製作所交通システム社笠戸事業所（13：30～15：15）

- ・鉄道車両・電気品・保守作業を扱う「車両システム」部門と信号・運行管理システムなどを扱う「輸送システム」部門を持つ、国内唯一のトータル鉄道システムインテグレータとして、安定・安全輸送を提供する鉄道システム事業で、確かな技術力をもって人々が安心して生活できる社会インフラを実現する活動を行っている。

- ・ 520,000㎡と広大な工場内をバスで移動しながら、構体組立、配線・配管作業、艀装作業を見学した。最新の新幹線・モノレールのほか、イギリスへ納入する車両などの製作の様子を視察した。
- ・ 歴史記念館において、笠戸製作所としての起源から、現在に至るまでの興味深い歴史について説明を受けた。



歴史記念館入口にて

(3)株式会社山下工業所 (15:30～16:40)

- ・ 新幹線の先頭構体（新幹線の「顔」）をつくるために創業。その技術は匠の技として全国的にも有名である。
- ・ 車両部品の製造だけでなく、その技術を生かした半導体製造装置向けの精密板金部品の実績のウェイトも高くなっている。
- ・ 打ち出し板金（三次元曲面成形）の技術で、作成されたバイオリンやピオラ、一輪挿しなどを手に取って、技術の説明を受けた。
- ・ 最後に岩崎会長ほか数名が、アルミ板の打ち出し板金体験に挑戦した。



打ち出し板金に挑戦

4. 視察を終えて

ご多忙中にもかかわらず、ご参加いただきました皆さま、そして視察にご協力いただきましたJX日鉱日石エネルギー株式会社下松石炭中継基地、株式会社日立製作所交通システム社笠戸事業所、株式会社山下工業所の皆さま方にはこの紙面をお借りして、厚く御礼申し上げます。

今回アンケートで頂戴したご意見を踏まえ次年度の計画を策定したいと考えております。